

地域版

SASEBO 99 Talk
M Cafe

令和6年度 車座集会 意見交換内容

日時	令和6年10月30日(水)14時から
場所	柚木地区コミュニティセンター 講堂
テーマ	・高齢者の利便性について(交通支援について) ・町内会役員及び民生委員等の成り手不足について
出席者	地域参加者10名、市議会議員1名、市長ほか関係者4名 合計15名

佐世保市 市民生活部
コミュニティ・協働推進課

令和6年度柚木地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:高齢者の利便性について(交通支援について)

地域参加者

- 見守り活動等で高齢者宅をまわると、交通の利便性が大変悪く困っているということがいつも話題になる。高齢者になって免許を返納すると途端に通院・買い物難民などになってしまう。近い将来に向けて民児協、福祉推進部会で母体となるものを作ろうと素案を作り、各分野の代表者を募って交通支援の母船を作り、乗組員を集めてスタートさせていこうと思う。支援体制がある程度見えれば、市や社会福祉協議会等の知恵を拝借しながら進めていきたい。現在手始めにどういったニーズがあるのかアンケートを集めている。デマンドタクシーを運行しているが1日9便しかなく、平均1日9名くらいしか使用していない。あといくら乗りたくてもタクシーが3台と限られているので、そこで非常に不便であるということからこういう話に至った。

その反面、困りごとサポーターがアンケートを取っていて、ゴミ出しや電球・電気の球の取りかえ、更衣の布団干し、書類の説明、買い物代行等々、支援ボランティアを募ったところ、柚木地区は思いやりが深い町で、結構声が挙がって反響が良く、非常に期待している。近い将来大きな問題になってくるところなのでよろしく願いしたい。

- 地域未来共創部という名前ではわからないというのが第一印象。「地域未来共創部とはこういうことをしています。だから先ほどの高齢者の交通の関係なんかもお手伝いしますよ。」と広報に載せることによって、市民はここに相談に行けばいいんだなということがわかるのではないかと思う。



令和6年度柚木地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:高齢者の利便性について(交通支援について)

地域未来共創部長

- バス路線は全国どこの自治体においても、減便や廃線を自治体が税金を投入して維持してくるのは非常に難しい状況である。
そのことから、今柚木地区ではデマンドタクシーを使っていたが、おそらく使い勝手が少し良くない。昨年法律が改正され、「公共ライドシェア」という仕組みができるようになるので、今年度中にその骨格みたいなものができるように今検討している。できれば来年度、少なくとも再来年にはモデル地区としてどこかで実施して、うまくいけばそれを適用して全地域でやれるような形にしたい。当然地域の方のご協力が前提になるが、そういった形を作っていきたいと思っている。
- 厚生労働省の所管する介護保険の外出支援サービスや国土交通省が所管する我々の公共ライドシェア等制度がいろいろとあるので、もし地域の中でやりたいということがあれば、地域交通課にご相談いただければと思う。ぜひそういう前向きに取り組んでおられるところと、先行して一緒にやっていきたいと思っている。



令和6年度柚木地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:高齢者の利便性について(交通支援について)



2024.10.30 柚木地区

市長

- 公共交通の利便性の問題は地域の最重要施策だというふうに考えている。法律の改正等もあって、いろいろなやり方等も工夫ができるようになっていく。地域未来共創部を新設して、地域未来共創部長を中心にスピード感を持って早急にこの問題に取り組んでいきたいと思っているので、今後ともご支援をお願いしたい。
- この4月の組織再編で地域未来共創、文化スポーツというものが新設された。ちょうど半年経ったので、部がやっていること等を紹介できるような場を設けたいと思う。

令和6年度柚木地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:町内会役員及び民生委員等の成り手不足について

地域参加者

- 自治協議会や各町内会においてなかなか役員になる人がいなくて困っている。自治協議会の会則によると会長は2年任期の6年までという規則になっているが、成り手がいなくて特別に決議をして、前会長が2年延長して8年されたという状況がある。町内会については、街中に比べればうちの町内会は退会する人は少ない地域だが、ただ役員になる人はなかなかいない。民生委員や保護司の後継者になる人もなかなかいない。民生委員の場合は定年制があるが、もう定年と言っているはず、なかなか次がないから80歳まで頑張るといような感じになっているところがある。柚木ではなかなか良い解決策を見つけることができないので、市の方で「こういうことをしたら役員の成り手が見つかるのではないかな」という、何かいい知恵があれば教えてもらいたい。
- 必ず町内会に入るメリットを聞かれる。公民館長をしていた頃、町内会員の募集をするように言われていた。入って下さいと言っても、入らないとごみ出しができなくなるのか、会費を納めなければペナルティがあるのかと聞かれると、そういうことはないのも何も答えられないため募集に行っても何にもならず帰るだけだった。先日の講演会で、災害時等何かあったときの地域のつながりの話があった。今度募集する時は、「何もないけれど、入ったことによって、何かあった時に知り合いになっておけばそれがメリットになる」という話ができる。



令和6年度柚木地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:町内会役員及び民生委員等の成り手不足について

地域参加者

- 町内会長が民生委員児童委員の推薦をすることになっていて、町内会長は3年に一度の民生委員についての改正のために頭が痛い思いをしている。全国民生委員児童委員連合会会長さんともこれは全国的な問題で、我々民生委員は今の仕事を一生懸命やっていくことが先決という話になった。

なかなか一般の人に民生委員や町内会長を引き受けてもらえない。引き受けてもらったとしても2年で辞めていかれるため、翌年はまた新しい方に一から教えないといけなくなり、町内連合会としては困る。

ひとつの素案として、特に公務員を卒業される方に、OBとして社会還元をしてくれということで町内会長等をやるように、市長から言ってほしい。そういう下地づくりをしていかないと成り手になる人が増えていかないと思う。公務員の方は事務手続きの方法などをご存知なので即戦力になる。案としては、辞令交付のようにして半強制的に言ってもらえたら助かる。

- 瀬戸越、矢峰に昔200世帯程度の雇用促進住宅という団地があった。そこでは役員の成り手がおらずに町内会が解散になったらしく、市政だより等広報が一切届かず困っているという話を聞いて、街中でそういう事例があることに驚いた。啓蒙活動を一生懸命して、いろんな人に役割や内容を知ってもらうことが大事かと思う。特に民生児童委員が何か知らない方が多い。5月には市庁舎に垂幕などをしてアピールしてもらっているが、もっと我々がしっかりしていかななくてはと思っている。



令和6年度柚木地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:町内会役員及び民生委員等の成り手不足について

地域参加者

- 先ごろは学校・家庭・地域というものがだんだん希薄になってきている。連合会で何かするといっても若い方の参加がなかなかない。決まった人ばかりが集まって準備などを行っているのが現状。学校関係で役員をされた方や地域の方々にひっぱり上げる力が我々もないのかなとも思う。
若い人たちと私たちとで逆の差がある。もう少ししないと役員をすることができないという人が多い。うちの町内会だと私が70歳すぎで50代半ばの方に体育部長や会計などをやってもらっているが、自分が辞めたいといってもなかなかそうはならない。地域でひっぱり上げる力っていうのもあると思う。そのあたりはどうしたらよいか。



2024.10.30 柚木地区



令和6年度柚木地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:町内会役員及び民生委員等の成り手不足について

市民生活部長

- 私共から言えるのは、例えば役員の仕事を皆さんで分担して、負担を軽くするとか、市から町内会への依頼事務は極力増やさないとか。
市のOBには、退職説明会で役員や町内会の地域貢献をやってくださいということを書いたチラシをお渡ししたりとか、職員課の方にも言ってもらったりとかしてはいる。ただ、なかなか退職後すぐさま役員にまではなれないということもあるので、若い内からまずは町内会へ入ってもらうようお願いをしている。
- 地域の中で繋がりが強いところは、入らざるを得なくなるという雰囲気があると思う。早い内から「地域の人を知る」というようなイベントとかをしていただきたい。お祭りは本当にいいが、知り合うというのはなかなかできない。先日の地区自治協議会の事例発表会で、自治協議会のメンバーだけでなくじっくりとお話をしたことがないような方にも声をかけて、地域でちょっとした懇親会のようなことをされたい。そういうことの積み重ねとかで、いい人が入って来るというふうな流れができるかもしれない。そのような事例もいろんな地域で考えてされているということを皆様にご報告したい。

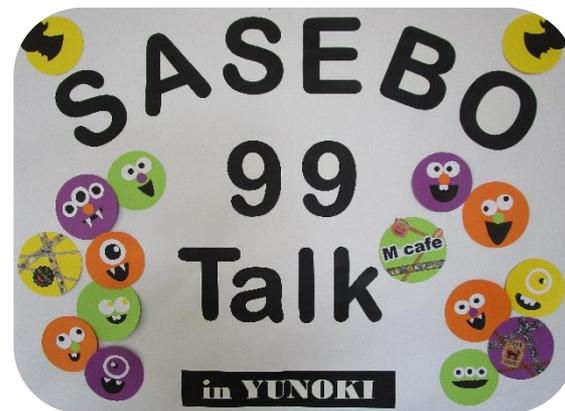


令和6年度柚木地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:町内会役員及び民生委員等の成り手不足について

市民生活部長

- 民生委員さんの成り手不足ということの中で、小さなことから積み重ねてだが、市の中でもいろんな負担軽減をやろうとしているようである。市からも赤い羽根募金の特別募金をやめるように実施主体である社会福祉協議会にお願いをするといったことで、少しでもやることを減らせないかというふうなところや、定数の見直しとかをやるということは聞いている。
また何か個別にお聞きになりたいことがあったらお繋ぎするので、言ってほしい。
- 防犯灯も半分は補助させてもらっているが、半分は地域の皆さんに出してもらっている。私たちができることは、町内会にどういうお世話になっているかというのを知らせていくと。そういう、行政がやれることはやっていきたいと思っている。
- 地域の人々が仲良くなるように何かしたら打ち上げをするとか、若い40代50代の人にも楽しいと思うような雰囲気先輩方が作る等、その辺りのところもうまくやっていただいて若い人を入れていただければと思う。



令和6年度柚木地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:町内会役員及び民生委員等の成り手不足について

市長

- また町内会長の成り手がいないというご苦勞については一朝一夕で解決ができる問題ではないと思うが、あの手この手を使って考えていく必要があるのではないかと思う。
成り手不足の理由には、仕事が大変で忙しいのではないかというようなこともあるので、負担を減らすやり方をいろいろ考える必要がある。民生委員の話の中であった佐世保市社会福祉協議会独自の募金については負担を減らしたほうがいいのではないかということで、私も指示をさせていただきました。
- 災害時等のいざという時や自分が高齢化した時に周りの皆さん方から支えてもらうというようなこともあろうかと思うので、「お互い様」の心でやっていくというのが町内会の在り様ではないかなと思う。そういうことを丁寧に皆様方にお伝えをしながら、万が一の時には町内会に入っていた方が当然いいとお伝えして、我々も加入促進を積極的に進めていきたい。
- 地域コミュニティ講座に長崎県のPTA会長に来てお話しいただいた。その時の子どもを軸とした地域のあり方というのが参考になった。若手の、特にPTAの皆さん方は、将来自治協や公民館長等の地域の担い手になっていただくいちばんの候補者だと思うが、そういう皆さん方は子どもの事業について一生懸命頑張られる。そこが1つの結節点かと。子どもの事業があれば、PTAの皆さん方も町内会や自治協も一緒にやっていける。それを一生懸命やってきたことを理由にPTAの皆さん方を町内会の方に引き込んで、次なる地域の担い手として育てていくということがひとつ講座のテーマであったかなと思うので、少し長期的になるかと思うが、そういうことをぜひ地域の中でも積極的に推進をしていただきながら、皆さんで次なる担い手の育成をしていただければと思う。

令和6年度柚木地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

地域参加者

- 町内のみなさんから出た意見をご披歴。(道路の問題等)
 1. 交通安全の観点から、「ふれあいロード」の出入口に標識をきちんとたてて、一時停止するようしてほしい。公園から出る所に停止線はあるが、上からくる車が猛スピードで来て危ない。
 2. 黒髪からの交差点に停止線を引いて標識をたててほしい。黒髪からの車がスピードを出してきて、一旦停止せずに来ることもある。
 3. スポーツの里の入り口のところの烏帽子との三叉路にも停止線をしっかり引いて、止まれの標識を立ててほしい。
 4. 新しくできた山澄―黒髪線の道路にも停止線を引いて標識を立てて、烏帽子から来る方を一時停止してもらった方が良くと思う。
 5. 少し烏帽子に戻った旧バス道路と新しく出た所。バス道路の方が優先かと思うので、はっきりして標識を立ててほしい。
 6. 白線が消えていて霧の発生時や夕方以降に運転しにくいので、道路の白線をはっきり引いてほしい。
 7. 運転がしにくいので、市道の脇の木の陰切りをしてほしい。(下山広新田線、下宇戸満場線、津々谷線)
- 柚木地区コミュニティセンターの再生について市から計画についての説明を受け、エレベーターの関係で建て替えにするようにだいたい決まっているという話だった。建て替えをする場合、地区としては市営住宅跡地が広いのでそこに建て替えたらという意見があった。現在地は出入口が五叉路で出入りがしにくく危険で、体育室の管理がしにくいという問題があるため、体育室横の住宅跡地を利用してほしい。駐車場も広く、建て替えの建設期間中の支所・コミュニティセンターの業務にも支障がない。消防の詰め所も出入りが難しいので、そこも一緒に移転したらどうか。



令和6年度柚木地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

地域参加者

- また(柚木地区コミュニティセンターの再生について)説明会があるということで、市民生活部からの案を示して町内の人たちにこういう意見があると話した方がいいのかなと自分は考える。役員だけで勝手に決めるのはよくないので、町内のみなさんの意見をお伺いした後に進めていければと思う。
- 市営住宅が閉鎖されて1年半～2年弱になるが、かなり草が生い茂っているため、柚木地区がさびれた地区というイメージが否めない。定期的な草の処理をお願いできれば。
- 各地域に危険箇所、急傾斜地ごとのハザードマップを配布してもらっているが、その後尻切れトンボになっているので、その後どういう状況、進み具合になっているのかというのをお話ししたい。
- 今柚木地区を取り囲んでいる山々の広葉樹の40、50年以上の木が枯れていっている。広葉樹がなくなれば自然災害等が発生する可能性が非常に高くなってくる。農林水産部として何か対処法等何かないか。何か考えておられるのか。



令和6年度柚木地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

市民生活部長

- 本日はそういういろいろな道路の問題があるということをお伺いしていただいた。後の詳細等はまた後日お願いしたい。
- コミュニティセンターの建て替えは計画に沿って進めているところである。ただ単にコミセンを建て替えるというだけではなく、消防団の所や住宅地の跡地をどうするか等いろんな要素も含めて、市の関連部局と一緒に考えていかなければいけないと思っているの。皆さんの意見もお伺いしながら進めていければと思う。

土木部長

- 現地の確認をしなければならないと思うので、確認後にまたお願いしたいと思う。確認をさせてほしい。
- 柚木地区においては、平成26年6月に配布をさせていただいた。それから約10年経ってはいるが、柚木地区の土砂災害警戒区域はその当時からして区域自体は変わっていない状況と聞き及んでいる。区域が変わる際には、当然ながらまた佐世保市の方で周知等を行わせていただければと思っている。
- この地区は相浦川の支流になっているので、洪水ハザードマップを令和7年度以降に作る予定となっており、その際にまた洪水関係の周知もさせていただければと思う。



令和6年度柚木地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

土木部長

- 周知は広報させばやホームページで毎年させていたいただいている状況だが、それでもわかりづらいというようなことであれば、出前講座等で詳しくご説明をさせていただくこともできる。



農林整備課 係長

- 佐世保市内にはため池が全部で901ある。その内決壊したときに甚大な被害が出るという可能性のある防災重点農業用ため池が94ヶ所あり、令和2年から令和4年にかけてため池のハザードマップの作成が完了している。
ハザードマップは佐世保市のホームページにすべて掲載をしており、ため池の水利組合さん等地元の方にもご協力いただきながら、緊急避難場所等も作成している。
- 農林整備課にて山の木が枯れているとの通報を数件受けているため、県と連携し現状の把握及びその検証をしている状況である。



令和6年度柚木地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

市長

- コミセンの建て替えの件は、計画通りに準備を進めさせていただいている。地域の皆様方にとって使い勝手が良い施設を作ることが重要なので、ぜひ地域の方でできる限りのコンセンサスをとっていただいた中で良い場所に良い施設を作りたい。
- 建て替えの案にもなっている市営住宅の草の件も、現地を確認させていただきたいと思う。



2024.10.30 柚木地区



令和6年度柚木地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

地域参加者

- 町内のある地域で「野良猫が非常に多い。里親を探しているが限界なのでどうにかならないか。困っている。」ということだった。避妊については助成があるようだが、保健所として何か対応ができないか。
- 補助金とかがあるから自分たちでやってみたらと言うが、そこで「誰がしてくれるのか。私たちが自分たちでしないと駄目なのか。」と、やっぱりこっちに言ってくる。
猫を捨てた場合の罰金の話等も聞くので、もう一般の人は対処できない。
- 同じような話は他の地区では出ていないか。
- 今雨が半端ない。柚木には3つのダムがあるが、素朴な質問としてダムがだいぶん老朽化しているが大丈夫なのかお聞きしたい。
- 当地区に産業廃棄物があり、そこで水質検査をしたことがある。当時の役員が環境部に水質検査はいつまでするのか質問をしたところ、永久にすると回答があっているようだ。そこから漏れた水が転石の水源地に入ってきているのではないかと思っている。今はないが、前はそこで燃やしたりしていたので堆積しているのではないかと思う。
検査を永久的にするというのは、廃棄物処理業者が営業している間の永久的なのか、その後もずっと永久的になのかがわからない。モニタリングして表や数字を貰っても自分たちはわからない。
市民の水がめなので、健康に影響があるのではないかと思っている。その辺はどうされているのかと思う。ずっと調査を続けておられるのか。



令和6年度柚木地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

地域参加者

- 調査を続けてられているのであれば、水質に問題はないと市政だよりにでも発表されたら、現市長がきちんと対応しているのがわかると思う。
- 柚木のバス停の営業所の交差点の四叉路にずっと大きなコーンが立ったままなので、どうなっているのか質問したい。
- 高齢化でイノシシを狩ってくれる人が減ってきていて、被害がでてきている。いい対策はないか伺いたい。
- イノシシを狩るのも担い手不足。うちも捕獲するグループをつくったが、みんな高齢化で辞めた。あとは猪が増えていくばかり。
- ちょうど通学路になっているこの坂(市道)が時間帯一方通行になっている。土日や朝まだ子どもたちが通学する時に下りて来る車が結構多い。逆走になるので危ない。対処法はないか。警察も止まって見ているが、市としての対処はできるのかと思っの質問。
- 交通安全期間中は駐在者さんやコミセンのセンター長さん達がそこで交通整理をするので、大丈夫。これは警察官の方が立ち会って切符を切る以外にはないのではないかと思います。
- 進入禁止は結構佐賀ナンバーが多い。表示を見逃してバーツと走って来る。
- 非公式な話だったと思うが町内連合会で出た意見。柚木で新築の家を建てたいと思っていた方が市街化調整区域になっているので建てられなかったのので、市街化調整区域の撤廃か規制の緩和ができないか。



令和6年度柚木地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

市民生活部長

- 行政等とボランティアの方たちだけではもう立ち行かないので、地域の方たちにも同じような意識を持っていただくために、コミュニティセンターでの出前講座や動物愛護センターの人から話を聞く等、みんなで聞いて理解を深める機会を持っていただいてもいいのかなとも思う。もしよければそういうお繋ぎの仕方をさせていただければと思う。
- (猫の)避妊の手術が大体2万ぐらいするようだが、100%補助じゃないかと思う。佐世保市の予算の額も増えているので、ご相談いただいたらどうかと思う。
- (野良猫の問題は)車座では今のところ出たことはない。市議会でもご質問されたということは、皆さんいろいろなことを聞かれているんだと思う。
- (ダムの際は)水道局に今日出た意見をお伝えする。

土木部長

- 県の方が整備をしている国道498号と市道田原柚木町線の交差点のことだと思うが、今のところ用地関係の調整、交渉をしている状況と聞き及んでいる。
信号機なども移設しないといけないということでもちょっと時間がかかっているが、警察と協議しつつ詳細設計をやるというご意向ではある。用地交渉の方をやっている最中ということで、早くて工事が令和7年度からと聞き及んでいる。
佐世保市としても早期完成に向けて、改めて県に対して今日のお話についてお伝えする。
- 通学路ということになると、教育委員会や、市道であれば我々土木部と、或いは警察を交えてまた改めて点検をするとか、そこは改めて時間帯等も見調整をさせてほしい。

令和6年度柚木地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

農林整備課 係長

- (イノシシの件は)市役所10階に有害鳥獣対策課という専門課があるので、そこにご相談をしていただければと思う。

市民生活部長

- (市街化調整区域の件は)今のところ都市整備部は方針は変えないという考えではいるが、今回直接市長にも聞いていただいたということで、今日の所はそういうふうに伝えてほしい。



令和6年度柚木地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

市長

- 野良猫対策としては県の方も殺処分ゼロを目指しながら取り組みをやっているので、市も県の方針にならって、補助金等の有効な使い方を実現できるように頑張っていきたいと思っている。その辺もぜひ地域の皆様方と連携をしながらやっていきたい。
- 柚木の3地区のダムに限らず、老朽化が進んでいるという記憶である。早晩どうこうということにはならないというふうに思っているが、老朽化を考えればこれから随時改修を図っていかなければならない。一方で、改修には当然代替的な機能も必要になるので、石木ダムなども念頭に置きながら推進をしているところである。この改修の計画も市民に影響がないようにしながら考えていく必要があるのではないかと考えている。
- (廃棄物処理に関する)水質の検査については、追加で確認をして、しっかり対処したいと思っている。
- 鳥獣対策は長年の問題であり、イタチごっこのような状況が続いているというのが今の状況かと思う。各地域で非常に深刻な問題なので、鳥獣対策の担当課に連絡をさせていただきたい。地域の個別の問題についてはしっかりと取り組んでいきたいと思う。
- 一方通行になっている道を逆走している状況があるとすれば非常に問題なので、土木部と教育委員会と連携をして、警察と話をしたいと思う。
- 本市としては都市計画マスタープランを元に、コンパクトシティというものを念頭に置きながらまちづくりを行っているということなので、今のところはその計画通りの線引きに沿ってやっていきたい。それぞれの地域の要望もあるので、それに応じた開発等については柔軟に対応していかなければならないと思っている。

令和6年度柚木地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

市長

- 一方、地域の方からこの線引きの問題についていろいろなご意見を頂戴している。人口減少下においてどのようにこの線引きが適当なのか、今の線引きは妥当なのかどうかというものも検証しながら、この調整区域のあり方については考えていきたい。



2024.10.30 柚木地区

